

広報

ひたち おおた



特集

未来を拓く常陸太田の教育 P2~5

成人式	P6 ~ 7
おめでとうございます	P7 ~ 8
健康でいこう	P11
地域おこし協力隊の活動報告	P13
まちの話題	P16 ~ 17
てくてくウォーク	P18

平成 25 年(2013)

2

月号

No.615

【復活した伝統行事の鳥追いまつり】

【特集】

未来を拓く常陸太田の教育



本市の学校では、「がんばりぬく子」「勉強する子」「郷土を愛する子」を育てることを目指し、心の教育を基盤として各学校や地域の実情に応じた教育活動を積極的に行い、常陸太田の未来を拓く人づくりを推進しています。

常陸太田市子ども人権スローガン

「やさしさ」と「ありがとう」でつくる笑顔の輪

～大切なものは近くにある～

柱1

人の心や命を大切に子どもを育てる

本市では昨年の夏、中学生が尊い命を自ら絶つという悲しい出来事が起きてしまいました。私たちは、これまでの教育のあり方を厳しく見直し、二度と悲しい出来事が起きないように、心の教育をさらに強化して一人一人の心に寄り添い、人への思いやりと命を大切にすることを原点に据えて教育に取り組んでいきます。

思いやりの心を育てる

心を揺さぶる道徳の時間

「命の大切さ」、「他人を思いやること」、「正義感」などをテーマに、子ども自身が心を開いて自分の「思い」を積極的に語り、聴き、話し合い、真剣に自分の生き方について考えを深める道徳の時間を積極的に実施しています。

また、実際の社会で正しく行動できるよう、工夫された授業を行っています。特に、「命の大切さ」については、自分の誕生や成長を実感をもって振り返られるよう保護

者の協力を得たり、子どもたちが本気で考えられる題材を用いたりしています。

各学校では、授業参観での道徳の授業公開や親子での道徳の授業への参加、外部の講師と担任が協力した道徳の授業など工夫して取り組んでいます。

これからはさらに、家庭や地域社会と学校が一体となって道徳の時間を充実させ、子どもたちの思いやりの心をはぐくんでいけるようにしていきます。



各中学校でつくる人権宣言を目標に、ボランティア活動や集会など生徒会活動を行っている



友だちへの「ありがとう」の気持ちを紙に書いて貼り付けていく「ありがとうの木」

常陸太田市教育委員会
常陸太田市教育委員会
親子ともみがき活動

親子ともみがき活動例

最初は、
元気「おはよう!!」から

<p>1 ともに食べる (食育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族で食卓を囲む。 食卓の周りに座席を設けておしゃべりを楽しませよう。 「いただきます」を大切にしよう。 	<p>2 ともに遊ぶ (食育)</p> <ul style="list-style-type: none"> キッチンやリビングの隅に遊び場を設けよう。 家族で遊ぶ時間を設けよう。 家族でゲームや読書を楽しもう。
<p>3 ともに働く (食育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族で食卓を囲む。 食卓の周りに座席を設けておしゃべりを楽しませよう。 「いただきます」を大切にしよう。 	<p>4 ともに読む (食育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族で食卓を囲む。 食卓の周りに座席を設けておしゃべりを楽しませよう。 「いただきます」を大切にしよう。
<p>5 ともに学ぶ (食育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族で食卓を囲む。 食卓の周りに座席を設けておしゃべりを楽しませよう。 「いただきます」を大切にしよう。 	

人権教育の推進

本市の子ども人権スローガンは、平成20年に市内八つの中学校の代表が集まり、中学生自身の力で人を思いやる気持ちを大切にすることを広げていこうと決めたものです。この思いを基盤に、人と人をつないでいく人間関係づくりを大切にした教育を推進しています。

小学校では、子どもたちがその日にあった出来事の中で「友達へのありがとうの気持ち」を紙に書いて貼り付けていく「ありがとうの木」や「人権の木」をつくっています。

また、中学校では生徒会が中心となって「人権宣言」をつくり、ボランティア活動を行ったり人権フォーラムを実施したりしています。

これまで「ハートフルフェスタ」たちおた」や各学校での人権教室など、保護者や地域、関係機関の方々の協力により、人権を尊重する活動が進められており、今後も、引き続き、市民の皆様方の協力の下に、人権を尊重し、人を思いやる気持ちを育てていきます。

親子ともみがき活動

子どもたちが生き生きと生活していくためには、なんといっても家庭での生活が基盤となります。本年度より市のPTA連絡協議会と連携して、家庭において、親子とともに食べる・遊ぶ・働く・読む・学ぶ、「親子ともみがき活動」を推進してきました。

引き続き、家族や親子のきずなを強くしていくために、活動を推進していきます。

一人一人に寄り添う

スクールカウンセラーの活用
スクールカウンセラーを各中学校に配置し、子どもでも保護者でも相談できる体制になっています。また、小学校の子どもたちのことで心配事や不安のある方は、各中学校で相談することもできます。

さらに市でも、2名のスクールカウンセラーを配置したり、県の緊急スクールカウンセラーを依頼したりして、一人一人に寄り添った相談活動を充実させています。

一人一人の心をとらえる

各学校では、「いじめに関する調査」や「学校生活に関するアンケート」などを実施し、子どもたちの状況をとらえてきました。しかし、

これらアンケートや目で見える子どもたちの日常生活からだけでは、心の中の確にとらえきれません。今後、学級での一人一人の満足度を測る調査も実施し、いじめのない、安心して学べる学級づくりを生かしていきます。

教員の研修

教員が子どもたち一人一人に寄り添い、心の中を的確に捉えて支えていくために、また、子どもたちの小さな変化も敏感に感じ取ることができるようになるために、道徳や人権教育などの研修を年間を通して行っています。

読書活動で心を耕す

小学校図書館の活性化を図るため、学校図書館司書を全小学校へ配置しています。

図書館の整備・充実を図り、子どもたちが本に親しむ環境をつくることで、「読む・調べる」の習慣化を進めます。また、学校全体で読書指導に取り組み、豊かな心をはぐくみます。



年間 50 冊を目標に読書に励む



学校図書館司書 菊地 千秋 さん

想像力豊かな人に

学校図書館の本の管理や、子どもたちが調べ学習などで本を探するときのお手伝いをしています。気軽に利用できるように、本の配置を工夫するなど、明るい雰囲気づくりに努めています。すすめた本を読んだ児童から「良かったよ」と言われるとうれしいですね。現在は活字離れが進んでいますが、本を読む習慣を育て、心の成長を促していきたいと思っています。

柱 2

学力の高い水準を維持し、さらに高める

各学校の学力向上に関する積極的な取組により、本市の学力は全国学力・学習状況調査において高い水準を維持しています。引き続き、子どもたち一人一人にきめ細かな支援を行って、さらに学力を高め、子どもたちが楽しく、進んで学習できるように取り組んでいきます。

きめ細かな教育が進められるように授業をサポートしています

ティームティーチング 教員の配置

各小学校に1名ずつ12名の講師を配置し、学級担任とともに協力して学習指導を行います。

複数の目で一人一人の学びを見取り、きめ細かな支援をしています。

また、大学生のボランティアを活用している学校もあります。

外部の専門家を活用した授業

大学の教授やその道のスペシャリストを講師として招いて専門的な立場から支援していただき、より学習に興味や関心の高まる授業を行っています。

理科の教科担任制を 実施

小学校2校で、理科の教科を専門の教員が担当。5・6年生の理科において、専門的な指導を行い、理科への関心・意欲の向上を図ります。

また、他の教員の理科指導力向上に努めています。

外国語活動の充実

子どもたちが外国語を使って進んでコミュニケーションを図れるよう、外国語活動支援員を小学校に配置しています。

中学校へは英語指導助手を派遣し、国際化に対応できるコミュニケーション能力の向上を目指しています。



理科専門の教員と学級担任が協力して授業をすすめる



パソコンを活用しながらの外国語活動



植物の成長など、
不思議なことを
書き留めたノート

自ら気づく「ふしぎはっ
けんノート」を活用

各小学校1年から3年生
まで、学校や家庭など身の
回りで起こった不思議に
思ったことを自分の言葉で
ノートに書き、そのこと
について自主的に調べる「ふ
しぎはっけんノート」を作
成しています。

このノートを使うことで
子どもたちの科学に対する
興味・関心を高め、自ら気
づく力を育てていきます。

柱3

地域を愛し、地域に貢献できる子どもを育てる

地域の歴史や文化、伝統、自然について学び、地域に誇りと愛情を
持ち、将来、地域に貢献できる子どもを育てていきます。

地域の歴史や文化、伝統を知る

地域の伝統を受け継ぐ

各学校では、郷土学習を
総合的な学習の時間を中心
にして積極的に進めていま
す。「西金砂神社田楽舞」「二
孝女物語」「町田焼」「真弓
駒」「天神ばやし」など保
護者や地域の方々の協力を
得ながら取り組んでいます。

ふるさと再発見事業

地域の歴史や文化、自然
などのよさを子どもたちが
調べ、掲示物にまとめて発
表しています。

今年も2月に開催される
「生涯学習フェスティバル」
において、各学校の作品が
パーティホールを会場に展
示されます。

歴史読本の作成

地域の歴史的な人物を子
どもたちに理解してもらっ
たことをねらいとして、平成
23年度に小学校6年生を対
象とした「歴史読本」を作
成しました。現在、第2号
を作成しています。

地域行事への参加

子どもたちは、「かかし祭
り」や「鳥追い」、「大助人
形」など地域の行事に参加
しながらその良さを学んで
います。



総合的な学習の中で子ども
たちが学ぶ「田楽舞」

体験活動の重視

教科の学習や総合的な学
習の時間、学校行事におい
て、職場体験やボランティア
活動、自然体験活動など
の様々な体験活動を取り入
れています。「人と協力す
ること」、「人に助けられ
ていること」、「自分が人の
役に立っていること」などを
肌で感じることで、子ども
たち一人一人の思いやりの
心をはぐくみます。



公民館等との連携で田植え体験を
する小学生

地産地消で郷土を学ぶ

地域や学校の実態に応じ
た食育を推進し、健康な体
づくりに努めます。自分た
ちの生活を振り返りながら
望ましい食生活について学
んだり、学校給食と連携し
て、地域の食材を生かした
献立を味わったりしていま
す。



地元野菜生産者と話しながら給食会



郷土料理のけんちん汁を味わう



希望と責任を胸に大人への第一歩

成人式

輝く未来へ
羽ばたけ新成人!

DATA

今年の市内の新成人は、平成4年4月2日から平成5年4月1日生まれの**654**人

☺ 男性 332人

☺ 女性 322人



晴天に恵まれた1月13日、パルティホールで成人式が行われました。当日は、567人の新成人が色鮮やかな振袖や真新しいスーツに身を包み、懐かしい友人たちと笑顔で再会。大人への第一歩を踏み出した若者たちの表情は、夢と希望に満ちあふれていました。

市内8中学校の卒業生17人の実行委員が中心となり準備が進められてきた成人式。

式典では「中学時代のおもいで」と題し、新成人の中学生当時の写真がスライド（成人式実行委員会制作）で会場に流されました。その後、実行委員が「二十歳のメッセージ」と題した抱負を発表。

式典後はアトラクションとして、水戸藩 YOSAKOI 連の演舞。その後、中学校ごとに記念写真を撮り、最後に風船を飛ばして終了しました。

式典後はアトラクションとして、水戸藩 YOSAKOI 連の演舞。その後、中学校ごとに記念写真を撮り、最後に風船を飛ばして終了しました。



記念写真を撮る姿があちこちで見られた



懐かしい写真に歓声が上がった



新成人の司会で進行



水戸藩 YOSAKOI 連が見事な演舞を披露

20歳の抱負
~ one's hopes ~

成人を迎えた私は、これまで多くの方々に支えられて成長してきました。これからは、自分の夢に向かって常に挑戦し続け、力強く生きていきたいです。そして周りに貢献できる人物になれるよう頑張ります。



成人式実行委員長
森 貴宏 さん

(中城町)

私はこれまでに、家庭・学校・職場・趣味をとおして、たくさんの人々と関わってきました。人は互いに影響を与え合っているもの。これからは人とのつながりを大切に、自分自身の経験を他の誰かのために生かしていきたいです。



同 副委員長
富田 あかね さん

(上利員町)

二十年間、家族や友人などたくさんの人と関わり、支えてもらい、感謝でいっぱいです。これから先、悩むことや迷うこともあると思いますが、どんな時も自分らしく突き進んでいきたいです。



同 副委員長
大高 愛美 さん

(中染町)

成人を迎え、これからは今まで以上に自分の言動に責任を持ちたいと思います。また、今までできなかった遊びや趣味にもたくさん挑戦していきたいです。



同 副委員長
大内 慎也 さん

(小島町)

おめでとうございます

全国高校駅伝優勝に貢献

昨年12月23日に京都市で行われた、男子の第63回全国高等学校駅伝競走大会。初優勝した豊川高(愛知県代表)のメンバーに、水府中出身の石川優作さんと飛田航兵さん(ともに2年)が入り、快挙達成に貢献しました。

都大路の42・195kmを7区間で競う同大会。石川さんは5区(3km)を走り区間6位の好走。飛田さんは出場こそしなかったものの、10人の登録メンバーに入り優勝をサポートしました。



石川 優作 さん 飛田 航兵 さん

石川さん「レースは初めの1kmを速く入りすぎ、ラスト1kmでペースダウンしてしまいました。全国大会だけに応援がとても多く、あっという間に終わった印象でした。今年は自分たちがチームを引っ張る立場。さらに力をつけて長い区間をしっかり走り、また優勝できるよう努力していきます」

飛田さん「都大路では補欠となり、走ることができずとても悔しい思いをしました。今年はディフェンディングチャンピオンという立場でさらに頑張らなくてはなりません。チームを引っ張っていけるような選手になれるよう頑張ります」

社会を明るくする運動 動作文コンテスト 全国で最優秀賞

第62回社会を明るくする運動動作文コンテストで、太田中2年の海老原弥南さんの作文「償うことのできる社会」が全国1位となる法務大臣賞を受賞しました。

また、世矢小6年の後藤千尋さんの作文「思いやりの気持ちを伝える」が県教育長賞を受賞しました。



海老原 弥南さん

「法務大臣賞を受けたことで周りの方からすごく祝福されてうれしかったです」



後藤 千尋さん

「この作文を書いて自分の考えたことで、社会を明るくできたうれしいと思いました」

県防犯ポスターコンクールで優良賞

県防犯ポスターコンクールにおいて、機初小3年の江間汐音さんが、子供の犯罪被害誘拐・連れ去り等防止の部で優良賞を受賞。また、峰山中2年の山崎幸暉さんが、振り込め詐欺防止の部で優良賞を受賞しました。なお、市防犯ポスターコンクールも行われ、下記の皆さんが受賞しました。〔敬称略〕

極真空手関東大会で 第3位

2012年秋季関東空手道選手権大会小学1年生男子の部において、郡戸小1年の鈴木大翔くんが第3位に輝きました。



鈴木 大翔くん

「前に負けたことのある、自分より大きい相手に勝てたのでうれしかったです。得意技は下段蹴り。4月の国際親善大会に向けて練習をがんばっています」



江間 汐音さん



「誘拐犯に注意してほしいと描きました。去年より色使いに注意して分かりやすくなるように描きました」



山崎 幸暉さん



「絵を描くのは好きで、振り込め詐欺の防止のため、いろいろな手口にだまされない強い意志を表現しました」

太田地区防犯協会長賞 / 小学生 茅根梨帆(金砂郷小) / 中学生振り込め詐欺防止 根本実奈(南中) / 中学生少年非行防止 山田悠功(太田中)

太田警察署長賞 / 小学生 篠原七海(佐竹小) / 中学生振り込め詐欺防止 谷田川友結(太田中) / 中学生少年非行防止 菅野真央(瑞竜中) 警察官友の会太田支部長賞 / 小学生 上野真桜(機初小) / 中学生振り込め詐欺防止 柴田悠(瑞竜中) / 中学生少年非行防止 茅根空良(太田中) 佳作 / 小学生 木梨翔太(水府小) / 中学生振り込め詐欺防止 阿部鈴奈(里美中) / 中学生少年非行防止 藤田夏海(瑞竜中)

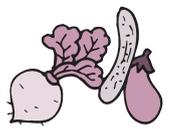
「広報ひたちおおた」 「市ホームページ」が 県広報コンクールで 特選・準特選を受賞

昨年の「広報ひたちおおた10月号」が、平成24年茨城県広報コンクール広報紙の部において特選(第1位)に選ばれ、平成22年からの3連覇を達成しました。

また、同コンクールウェブサイトの部および広報紙1枚写真の部では準特選を受賞しました。

取材などに協力いただいた市民の皆さんに改めて感謝申し上げます





農業のチカラ



照沼 勇雄さん
(西宮町)

食を支える農業にスポットをあて、農業者の皆さんの意気込みを伝えていきます。



照沼 勇雄さん

本市には、ハウス野菜の生産者が多くですが、冬場は暖房費が多くなるなど物価の変動に大きく左右されてしまっています。冬でもおいしい野菜が食べられるのは、このようなハウス農家の苦労があってこそですね。今回は、きゅうりのハウス生産者の方を訪ねました。

きゅうりを作り続けて

20歳のときからハウス栽培を始めて44年になります。現在はハウスを4000㎡に拡張し、息子も手伝ってくれて年間120tを水戸の公設市場へ出荷しています。

きゅうりの品種は「ハイグリーン22」。実の形と



色つやの優れた品種で、市場の需要が高いものです。9月に種をまき、11月〜7月までが収穫期。春先の最盛期には朝夕の収穫で1日1tを超すこともたびたびです(きゅうり1本の重さは約100g)。

生産性を高める工夫を

里川の近くなので土壌が肥えていて味が良いとの評判で、看板を掲げているわけではありませんが、直接買いにくるお客様もいます。

また、有機栽培に近づけようと肥料には気を使ひ、有機肥料をふんだんに使用し栽培しています。冬場はどうしても温度が低くなるため収穫量は落ちますが、その分樹高を抑えカーテンを入れ、暖房費を抑制するなど生産性を保つ工夫も凝らしています。野菜の値段も冬場は高



なりがちなので年間通しての収入は安定していると思います。スイパーなどでうちのきゅうりを見かけたら、ぜひ一度食べてみてください。

上手に リサイクル

昨年8月から始まった「資源物・燃えないごみ」の無料回収。燃やすごみの中に資源になる紙類がまだ多く入っているようで…。

問清掃センター (72 3316)

紙類の資源化はうまくいってるのかな？

ティッシュの箱とか資源物で出せるのはわかってるんだけど、どうしても燃やすごみに入れちゃうのよね～。

昨年の10月から12月までの3カ月でみると、

約142トンの紙類が資源物として出されましたが...
まだ約605トンの紙類が燃やすごみの中に入っていたと思われます...

こういうふうには紙袋に入るとそのまま出せるから楽かもね。

リサイクルされると、トイレットペーパー、コピー用紙などになるよ。みんな協力してね。



皆さんのアイデアをまちづくりに!!

市民提案型まちづくり事業

自分たちの力で地域の課題を解決し、地域の活力を生み出そうとするグループや団体等を応援する事業で、5年目を迎えた今年度は14団体を採択しました。各団体の活動状況を随時紹介していきます。問市民協働推進課（内線217）

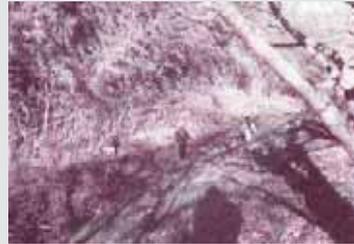
ふるさとでの清流復活へ

【浅川をきれいに美しくする会】

代表 根本一男さん（下宮河内町）

荒れてしまった河川、敷をきれいにするための美化活動を行っています。今年度は、周囲の竹の伐採やフナの放流のほか、「リバースミスの学校」との連携事業の中で、体験交流施設「かなさ笑楽校」の体験メ

ニユーづくりを行うなど、地域外の皆さんとの交流も進めています。



また会では、3月にも地元の子どもたちとウグイの放流を予定しており、これからきれいな浅川を取り戻すための活動を続けていきます。

林道整備で活性化

【いばらきMTBネットワーク】

代表 富岡修一さん（上河合町）

荒れた林道をハイキングやマウンテンバイクのコースとして利用できるように整備を行っています。今年度は、春友町から高鈴山へ抜けるコースの整備に取り組んでおり、9月から1月まで延べ6回、約2kmのコースを



整備しました。今後、継続的に活動していくとともに、多くの人にハイキングやマウンテンバイクのコースとして利用いただけるよう、PR活動もあわせて行っていきます。

カブトムシに夢を乗せて

【常陸太田市折橋芸（能・農）部】

代表 弓野征司さん（折橋町）

地域で耕作放棄地となっていた畑を活用し、さまざまな農作物を耕作、地元のお祭りや敬老会で民舞と料理を振る舞う活動を行っています。

また一昨年からカブトムシの飼育を行い、昨年は「カブトムシの里」を整備。地元の幼稚園児



会では、今後農作物の耕作やカブトムシの飼育・体験学習をおして、地元で元気があふれる活動をしていきます。

みんなの憩いの場を守る

【常陸太田市大中町会】

代表 小林信房さん（大中町）

地元にある根岸のため池と周辺の環境保全活動を行っています。今年度も昨年に引き続き、ため池周辺の耕作放棄地約2000㎡の環境美化に取り組み、あやめや水芭蕉、オランダの植栽を行いました。



大中町では、今後も地域住民の憩いの場として、根岸のため池周辺の景観維持・整備活動を続けていきます。

また、8月に「大中町会夏まつ

見逃さないで！

心のSOS

～うつ病の早期発見・早期治療～

うつ状態・うつ病とは

日常生活の中でストレスや悩みから、落ち込んだり憂うつな気分になった状態をうつ状態といいます。一時的なうつ状態は誰でも起こりうるものですが、その症状が強く長期にわたる場合にはうつ病を疑う必要があります。

うつ病は、憂うつな気分や倦怠感・絶望感・罪悪感などを伴う心の病気です。ひどくなると、自分を否定したり、希望を失ったりするなど、悲観的な考え方がその人を苦しめます。

あなたや周囲の人にこんなサインありませんか？

症状が2週間以上続く場合には、まずは相談を！

睡眠障害

- ・朝早く目が覚める
- ・疲れているのに眠れない
- ・寝酒しないと眠れない

気力低下

- ・集中力がない
- ・能率が上がらない
- ・やる気がでない
- ・性欲がない

身体症状

- ・だるい、動悸、頭痛、めまい、体重減少、食欲がない、腹痛、疲れがとれない、首・肩こり

適切な治療を

うつ病は、「心の風邪」と呼ばれるように、誰もがなる可能性のあるごく普通の病気です。しかし、軽く考えて放置すると症状が長引き、そのことで仕事や生活上の問題も長引いて、悪循環に陥ってしまいます。症状が重くなる前に、早く治療を始めれば早く回復します。自分や身近な人の体や心の「いつもと違う」状態に気づいたら、専門機関に相談しましょう。

かかりつけの医師や市保健師、専門医療機関（心療内科や精神科）のほか、下記の専門の窓口へご相談ください。

専門相談窓口（予約制）

相談名	とき	ところ	予約・相談先	専門相談員
こころの相談	毎月第3水曜日 午前10時～午後4時	市役所本庁1階相談室	社会福祉課 72-3111 内線162	メンタルサポートステーション「きらり」施設長（精神保健福祉士）吉田隆宏氏
精神保健相談	毎月第4水曜日 午後1時半～4時	総合福祉会館相談室	健康づくり推進課 73-1212	回春荘病院長（精神科医）佐藤厚子氏
	毎月第2水曜日 午後1時半～	県常陸太田合同庁舎相談室	常陸大宮保健所 0295(52)1157	

うつ病を予防するためのポイント

まめに休憩を取り、疲れを増やさないようにするとともにしっかり睡眠を取り、次の日に疲労を持ちこさないようにしましょう

ぼんやりと過ごす時間を大切に、時には何もしない日をつくるようにしましょう

大切なものから順番に片付け、終わらなければ「明日やればいい」と考えるようにしましょう

ウォーキング、体操など軽い運動に定期的に取り組みましょう

悩みは一人で抱え込まず、必ず誰かに相談しましょう



赤土あおぞら塾

12月22日、赤土町集会所において、赤土あおぞら塾（塾長：関清一赤土町会長）が行われました。

この事業は、餅つきやミニ門松づくり・大助人形づくり体験をとおして、冬休みを迎えた子どもたちに地元の魅力を知ってもらい、地元の活性化につなげていこうというもの。当日は、地元町会や学生ボランティア、日立市など市内外からの親子連れ参加者が約120人参加し大盛況でした。



おうちに飾ろうね



つきたてのお餅は最高だね

里川町の鳥追い体験

1月13日、里川コミュニティセンターにおいて、小正月の伝統行事として知られる鳥追いまつりが行われました。

地域住民や学生ボランティア、市内外から訪れた親子など約100人が集まり、餅つきや繭玉づくり体験を楽しみました。参加者は、4色の餅を丸めて繭玉作りを体験し、また、地元の郷土芸能のおかめひょっこ踊りやよさこいソーランなどで楽しいひと時を過ごしました。里川地区では、郷土の伝統文化を見つめ直し、交流人口の拡大にもつなげようと5年前から実施しています。



鳥小屋前でハイチーズ！



特産品の入った福袋だよ



おかめひょっこ踊り



色鮮やかな花餅

ちよつと寄り道

今月は中野町

中野町薬師堂



中野十字から北へ150mほど行き、右に入った所に、地元で「お薬師さま」と呼ばれている薬師堂やくしどうがあります。この薬師堂は江戸時代後半の建物で、正面の龍の彫刻、木鼻としてある狛犬・獅子・象などの彫刻はすばらしく、日光東照宮ようめいもんの彫刻師の作か(?)ともいわれています。

旧6月10日の縁日には、病気の快復や予防の願掛けのため、近隣から多くの方が訪れたそうです。境内には馬力神けいだいや如意輪観音像ぼりきしんなどもあります。今でも時々参拝する人がおり、地元の心のよりどころとなっています。

なかの
来月は、中野の「中」つながりで、
おあなか
大中町さんにお願
いします。



紹介者
中野町
塙 忠敬 さん

地域おこし協力隊がゆく!!

つながりぼん

私たちが地域おこし協力隊です!
【 】は主な活動場所



石川 明紗
【里美地区】

笹川 貴吏子
【里美地区】

長島 由佳
【里美地区】

野崎 真衣
【金砂郷地区】

白石 百合乃
【金砂郷地区】

里美の旬の料理教室&地域の魅力に触れるツアー with 美菜部

1月19日に、約20人の『いばらき美菜部』メンバーによる「お母さんに学ぶ いいあんぱい料理教室@古民家&里山の風景を撮りにいこう 茨城ツアー（常陸太田編）」が行われ、里美支部はツアーのコーディネートを行いました。『いばらき美菜部』とは、茨城県出身で現在都内在住の方が、「食」を通して茨城のPRをするというグループです。当日は常陸太田市出身の方も参加され、市内外の方に里美地区の食を中心とした多様な魅力に触れていただきました。料理教室の他に、「地域の食文化と暮らしに触れるツアー」ということで、地域の方のお宅にお邪魔して、火室や米蔵、得意な書道や木作品を見せていただき、参加者の方々は直接地域の人との触れ合いを持ってたことに大変感動していました。地域の方も参加者との触れ合いを喜んでくださいました。協力隊ならではの深みのあるツアーを組むことができたと思います。



おいしい食事を囲んで大家族のようです

ツアーの際に参加者の方々が撮影した写真は、銀座の茨城マルシェに展示され、その後は常陸太田に巡回してくる予定です。今後もいばらき美菜部との連携を深め、協力して常陸太田のPRを行っていきます。



お母さんたちの料理は思わず写真を撮りたくなる!!

かなさ笑楽校!! これからに向けての結束

かなさ笑楽校は金砂郷の最北端、金砂地区にあります。もとは金砂地区の方が通っていた学校ということもあり、金砂地区はこれからもかなさ笑楽校と一緒に作っていく主な地区だと考えています。

そこで昨年12月に、金砂地区の結束の意味を込めて、地域資源である「竹」を使い、地域の方々とオブジェづくりをしました。企画の段階から何回も地域の方と打ち合わせを重ね、デザインを考えてきました。デザインは金砂地区の上宮河内・下宮河内・赤土・上利員で「陣」を組んで結束を固めているというイメージにしました。そしてオブジェの真ん中に「かなさ笑楽校」があるというイメージなのですが、まだなにもありません。



各町会の方向に向かって看板を設置

これからまた地域の方と一緒に真ん中をどうするか、このオブジェをどう活用していくかなどを考えていく予定です。

さらには、竹は金砂地区の地域資源なので、かなさ笑楽校の体験メニューとして、竹を使った工作メニューもこれから考案していく予定です♪ぜひかなさ笑楽校にいらしてください☆★



地域の方から、一つ一つの作業を丁寧に行う大切さを学びました



想いを込めて、書いていました

ルリエ（常陸太田市地域おこし協力隊）とは？

「地域おこし協力隊」は、平成21年度から始まった総務省の事業で、都市圏の住民が1~3年間、過疎地域に住民票を移し地域で生活しながら、農林漁業の応援、水源保全・管理など様々な地域協力活動をしていきます。

ルリエのBlog * <http://ameblo.jp/ykm-satomi3103/> 「ルリエ」は、フランス語で「つなぐ・むすぶ」という意味

市職員の給与・定員管理をお知らせします

問総務課人事係（内線 341）

給与

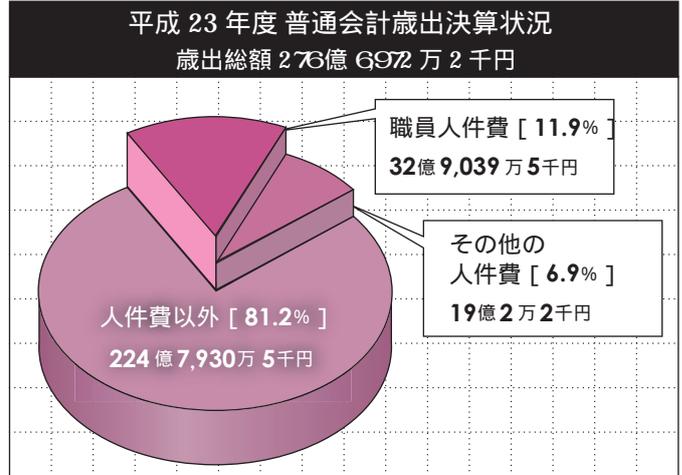
本市職員の給与は、地方公務員法の規定に基づき条例で定められており、すべて議会の審議を経て決められています。

人件費の決算状況（平成 23 年度）

右のグラフは、平成 23 年度普通会計の決算状況です。人件費は「職員人件費」と「その他の人件費」を合わせた部分で、歳出全体の 18.8%（51 億 9,041 万 7 千円）になります。

「普通会計」とは、国民健康保険事業、介護保険事業、水道事業、下水道事業等の公営事業会計以外のものをいいます。

「その他の人件費」とは、市長等給与、議員報酬、行政委員等報酬などです。



職員の平均給料月額および平均年齢の状況（H24.4.1 現在）

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	333,900 円	44.5 歳

「一般行政職」とは、一般職のうち消防士、保育士、幼稚園教諭等以外の職員です。

特別職の給料等の状況（H24.4.1 現在）

区分	給料月額等	期末手当
給料	市長 840,800 円(885,000 円)	6 月期 1.40 月分 12 月期 1.55 月分 計 2.95 月分
	副市長 669,800 円(705,000 円)	
	教育長 631,800 円(665,000 円)	
報酬	議長 460,000 円	
	副議長 415,000 円	
	議員 395,000 円	

市長・副市長・教育長の給料については、平成 18 年 4 月から 5% 減額を実施しています。() は減額前の額です。

職員の初任給の状況（H24.4.1 現在）

区分	常陸太田市初任給	国初任給
一般行政職	大学卒 172,200 円	172,200 円
	高校卒 140,100 円	140,100 円

定員管理

定員管理適正化計画

定員管理適正化計画は、市職員数の削減を数値目標として定めたものです。平成 22 年度を起点として 5 年後の平成 26 年度末までに 10.4%（70 人）の削減を目標としています。

区分	起点 (H22.4.1)	H23.4.1 現在	H24.4.1 現在	H22.4.1～H27.4.1 計画の目標値
行政職	532 人	516 人	505 人	474 人
消防職	83 人	85 人	87 人	85 人
技能労務職	55 人	52 人	49 人	41 人
合計	670 人	653 人	641 人	600 人
増減(起点比)		17 人	29 人	70 人
増減率(起点比)		2.5%	4.3%	10.4%

職員手当の状況（H24.4.1 現在）

区分	区分	期末手当	勤勉手当
期末手当	6 月期	1.225 月分	0.645 月分
	12 月期	1.375 月分	0.645 月分
勤勉手当	計	2.600 月分	1.290 月分

区分	内容	支給額
管理職手当	部長	給料月額の 12% の額
	課長	給料月額の 10% の額
扶養手当	配偶者	13,000 円
	配偶者以外の扶養親族	6,500 円
住居手当	借家・借間	27,000 円以内
通勤手当	交通機関	55,000 円以内
	交通用具利用者	2 km 以上の距離に応じて支給 2,000 ～ 24,500 円

管理職手当については、平成 18 年 4 月から 10% 減額を実施しています。

部門別職員数の状況（H24.4.1 現在）

部門	職員数	
一般行政	議会	6
	総務	106
	税務	29
	民生	92
	衛生	34
	農水	33
	商工	20
	土木	46
	小計	366
	特別行政	教育
消防		88
小計		209
公営企業会計	水道	28
	下水道	13
	その他	25
	小計	66
合計	641	

(注) 職員数は一般職に属する職員数であり、特別職や非常勤職員等は含まれません。

国民健康保険からのお知らせ



問保険年金課国保係（内線 112・113）

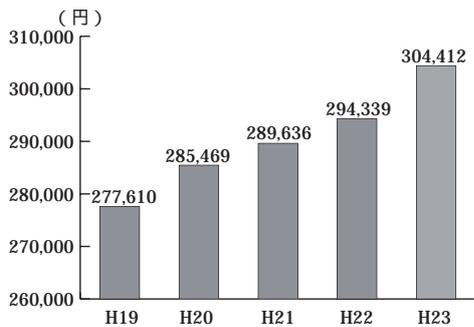
**国保の医療費は
年々増加してい
ます**

本市国民健康保険の昨年度の被保険者数は1万5353人で、毎年緩やかに減少しています。一方、一人当たりの医療費は年間30万4412円で、ここ数年増加傾向にあります。

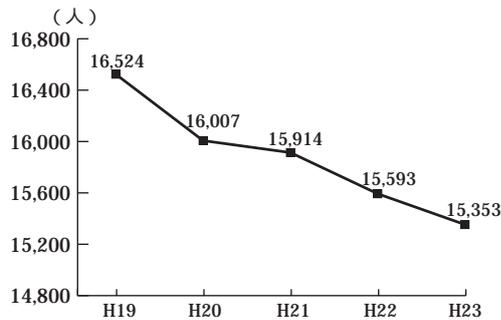
医療費増加の要因は、定年退職を含む社会保険などからの離脱による国保加入者の増や、医療技術の進展により高額な医療費がかかる件数が増

えたことなどが考えられますが、今後ますます高齢化が進行し、医療費の増加が予測されます。

一人当たり医療費の状況



被保険者数の推移



**医療費の適正化に
ご協力ください**

国民健康保険は、病気やケガをしたときに備えて皆さんが互いにお金を出し合い、お医者さんにかかるときの医療費の一部にする助け合いの制度です。医療費は、皆さんが病院などに支払う一部負担金（1割～3割）のほかは、国民健康保険で賄っています。少子高齢化となった今、増え続ける医療費が国保財政を圧迫しています。

私たちができる医療費適正化対策には、健康診査等を積極的に利用して病気の早期発見に心がけることや医療機関等の受診方法を見直すことなどがあります。

生活習慣病は年齢とともに進行し、糖尿病、脳こうそく、心筋こうそくなどを発症して入院に至ることが多いですが、日頃から健康管理に気をつけることで、ある程度自分で予防することができま

す。早い段階で病気の芽を見つけ、生活習慣の改善を心がけることは、長い目で見た医

療費適正化対策であると言えます。治療が最優先ではありませんが、私たち一人ひとりが生活習慣病予防に心がけることで、医療費の適正化にご協力をお願いします。

お医者さんの掛け持ちはやめて、かかりつけ医を持ちましょう

お医者さんの指示を守り、薬を必要以上に処方してもらうのをやめましょう

できるだけ休日等避け、診療時間内に受診しましょう

年に一度は健康診査を受け、病気の早期発見、早期治療を心がけましょう

趣味を持つなど、明るく楽しい健康的な生活をおくりましょう

ジェネリック医薬品の使用も効果的です

ジェネリック医薬品は先発医薬品に比べ安い価格で発売されるので、薬代の負担が軽くなり、慢性的な疾患の方でも無理せず投薬治療を受けることができます。

Information

**温かいご支援、
ありがとうございます**

東日本大震災義援金

（12月18日～1月25日受入分）

匿名の方2件 6万円

義援金累計

1億148万3036円

善意ありがとうございます

幡寿会様 社会福祉事業のため 6505円

河内の文化遺産を守る会

様 旧町屋変電所の災害復旧のため 7万円

茨城みずほ農業協同組合

様 社会福祉事業のため 4万9861円

ふるさと常陸太田（12月

22日～1月22日受入分）

ふるさと納税により、寄附

をいただいた方です。

匿名の方（千葉県柏市）

5000円（自然を活かしたまちづくり）

澤幡 仁様（東京都江戸川

区）10万円（未来を担う

人づくり）

市消防団では、 消防団員を募集しています

消防団員は、職業を持つ傍ら「我がまちの安全を守る」という使命感のもと、地域の防災活動のリーダーとして幅広く活躍しています。特に地域の皆さんとのふれあいを大切にした活動は、防災に強い安全なまちづくりの実現に欠かせないものです。各地域で活躍する消防団に、あなたの参加をお待ちしています。

【消防団Q&A】 Q 活動内容は？

A 災害が発生した場合に、消防署と一体となって火災の消火や救助、救護活動を行い、住民を守るのが消防団の大きな役割です。また普段は災害に対する訓練のほか、住民一人ひとりの防災意識を高めるために、火災予防、応急手当の指導などの活動をしています。

Q 消防団員の身分は？

A 消防団員は、非常勤特別職の公務員。災害出動など公的な活動を行うため、消防

団員として守らなければならぬことが市条例や規則などで定められています。

Q 待遇や補償は？

A 消防団員には、活動を行うために必要な活動服などが貸与されます。また、年間一定額の報酬と、訓練・災害出動には手当が支給されます。退職報償金支給制度（勤続5年以上）もあり、消防団活動によりケガなどをした場合は、公務災害補償が受けられます。

Q 入団の資格は？

A 常陸太田市内に居住または勤務している、年齢18歳以上で心身ともに健康な方

Q やってみようかな、と思 うんですけど

A 地元の分団長または常陸太田市消防本部までお問い合わせください。

常陸太田市消防本部総務課
73 1193

スポーツフラッシュ (敬称略・丸数字は順位)

第101回市少年相撲大会
「9月9日/山吹運動公園相撲場」

【団体】 新宿町 宮本町

B 中城町A

【個人男子】

1年生の部 黒羽漣(中城町) 松本大麒(中城町)
岡崎陽祐(内堀町)

2年生の部

根本大生(中城町) 安嶋朔良(新宿町)

高森隆太(中城町)

3年生の部

井坂佳亮(花房町) 畑中優紀(宮本町)

玉井真悟(木崎二町)

4年生の部

平塚龍生(中城町) 小沼宏多(宮本町)

本多達樹(中城町)

5年生の部

長谷山匠(中城町) 飛田柊吾(金井町)

片岡勉(宮本町)

6年生の部

根本淳生(中城町) 安嶋市悟(新宿町)

荘司拓矢(内堀町)

【個人女子】

2・3・4年生の部

安嶋凛(新宿町) 高橋千裕(宮本町) 吉井結香(宮本町)

5・6年生の部 村田萌菜(宮本町) 黒田菜摘(内堀町) 平塚彩水(中城町)

第34回市長杯ソフトテニス大会

「11月11日・12月16日/山吹運動公園」(カッコ内は所属チーム)

【一般の部】

【男子】

宇野・植草(水戸白友会) 大賀・神成(あすなろ) 田所・川野辺(一般) 緑川・瀬谷(あすなろ)

【女子】

奇原・中澤(茨城大OG) 栗田・加藤(太田)

一) 田所・小林(あすなろ) 宮本・近藤(あすなろ)

【中学生の部】

石田渉・宇野史晃(峰山中) 山田武尊・澤島和司(峰山中) 和田勇太・渡邊康太(水府中) 益子敦也・根本悠希(水府中)

【女子】

萩谷日和・柳橋果奈(峰山中) 舟橋穂乃香・海野聖奈(峰山中) 島根麻衣・小林明日香(南中) 千咲・佐藤紗椰(南中)

まちの話題

消防車両を更新

市消防本部では、市消防団水府支団第2分団第3部および里美支団第2分団第1部の消防ポンプ自動車2台と、太田支団第2分団第2部および第4分団第2部の小型動力ポンプ積載車2台を更新。消防ポンプ自動車は、機動性・安全性を重視した4WD車両。小型動力ポンプ積載車は、小型動力ポンプの排出ガスや始動時の騒音低減など環境に配慮した車両です。



太田支団第2分団第4分団第2部と第2部に配備した車両



水府支団第2分団第1部と第3部と第2分団第2部に配備した車両



楽しい昔遊び体験

1月20日、機初公民館で**昔遊びの好きな子集まれ!**

Part が行われ、けん玉達人やお手玉達人から昔遊びを教わり親と子どもたちはすぐに夢中になって遊びました。集まった地域のおじいさん、おばあさんも昔を思い出しながら子どもたちにコマ回しのやり方などを教えていました。最後にビンゴゲームでけん玉や独楽や折り紙のプレゼントがあり、楽しい一日を過ごしました。



けん玉、上手にできるかな

里美中生が高齢者施設に寄付

12月21日、里美中の生徒が特別養護老人ホーム**えみの里**を訪れ、**里翔ッブ**の売上金の一部を寄付しました。里翔ッブは、2年生33人が手作りのものや自分たちが使っていたものを持ち寄り、職場体験の経験を生かして開いたお店。「お店の運営は全部自分たちで行い、集まった売上金をどう使うかもみんなで話し合っ



代表者2人が寄付を手渡しました

消防出初め式

平成25年常陸太田市消防出初め式が1月12日、パルティホール他で開催されました。消防職員・団員823人、消防車両55台、婦人防火クラブ員や防火衣を着た子どもたちなどが、市役所からパルティホールまでパレード。また県の防災航空隊による救出訓練や消防団による放水式が行われました。式典では、太田進徳幼稚園幼年消防クラブ員による鼓笛演奏や永年勤続の消防団員等の表彰が行われました。



ヘリコプターでの救出訓練

親子で元気アップ

1月20日、生涯学習センターで、**おやこ元気アップ! 事業**が行われ、親子約40組が参加しました。常陸太田市レクリエーション協会と鯨ヶ丘スポーツクラブの方を中心に、親子で創作ダンスなど楽しく体を動かしたあと、保護者は生活習慣を考えるセミナーやグループディスカッションで子どもの体力低下について学び、子どもたちは昔のおもちゃ作りをして元気に遊びました。



親子で元気にみなサンバ

各地で正月の伝統行事

1月13日に瑞龍町の小野集会所で行われた**どんど焼き、まゆ玉飾り**。どんど焼きでは子どもたちが持参した書き初め用紙を炎に投げ入れ、字が上手になるよう祈りました。また、餅つきをして、あんこやきなこでおいしい餅に舌鼓。最後にみんなでまゆ玉を飾って今年の無病息災を祈願しました。

同日、上河合町の田んぼで**第6回鳥追い祭り**が行われました。今年は8畳ほどの小屋のほかに子どもたちの手で2畳ほどの小屋も建て、中でお餅を焼いたり豚汁を食べたりして盛り上がりました。日暮れと同時に大久保市長が鳥小屋に火を放ち今年の豊作を願いました。



ヨイショ!地域の皆さんに手ほどきを受けながら、上手につけました(瑞龍町)



幸久小の児童。先生と一緒に(上河合町)

男女共同参画セミナー

1月20日、生涯学習センターで男女共同参画セミナーが行われ“女性の視点による防災対策”についての講演が行われました。講師の先生からは、災害時だけでなく日常から男女共同参画が実現されている必要性が述べられ、参加者も熱心に質問していました。



熱心に話を聞く参加者

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。



文化課エコミュージアム推進室（内線 541）

大中町ハイキングコース

距離：約5km 所要時間：2時間

今回は大中町を歩きました。取材の前に降った雪がまだ残る中、歩くことになりました。ぬく森の湯をスタート地点に里美支所を目指し、大中神社に寄ります。里美地区には滝の名所が数ありますが地図（里美の休日滝めぐりマップ）にない滝などもあります。また、睡蓮の綺麗な根岸のため池やシダレ桜で有名な泉福寺なども見所は数多くあります。最後に、全国トップクラスの pH 値を誇る里美温泉保養センターぬく森の湯にゆっくり浸かって体を温めるのもいいでしょう。これからの季節、散策を楽しむにはぴったりの地域です。

大中神社本殿・御神木

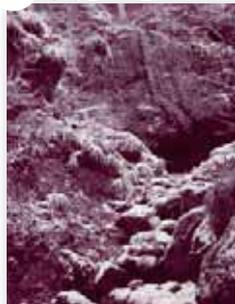


④江戸時代中期の建造で市指定建造物。幾重にも重ね組み上げられた豪華な彫刻の屋根が見事



⑤市指定天然記念物。推定樹齢約 400 年

和見の滝



水量は多くないが高さがある。冬場はよく凍結する

戸倉の滝



地元の方にしか知られていない滝



泉福寺のシダレザクラ



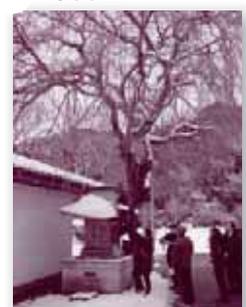
県指定天然記念物。推定樹齢約 300 年

根岸のため池



睡蓮の名所、ピンク・白・黄色の各色の花が一か所で楽しめる

薬師堂



すぐそばに桜の古木があり花の時期は見事だそうです。泉福寺と併せてどうぞ

園児たちのギャラリ-

今月は「すいふ保育園」で～す(^0^)/

私たちは豆をいれるかわいい
バッグがポイントよ。



僕たちはかっこいい金棒を作
ったよ。



節分のおに

年長さん(さくら組)

おには～そと！ふくは～うち！
みんなでおにに変身したよ。豆まきが楽し
みだな～。

ボランティア がんばってます！

第11回



市民ボランティア なあす

「広報ひたちおおた」では、ボランティアに取り組ん
でいる方や団体を応援し、毎月ご紹介していきます！
問 情報政策課広報広聴係（内線 303・304）

資格を生かし社会貢献

市内の病院などで働く看護師5人が集まり、ひとり暮
らし高齢者を支援するボランティア団体「なあす」を平
成23年9月に立ち上げました。きっかけは、高齢化や
過疎化が進む地域の現状を目の当たりにし、「ナースの資
格を生かして、何か皆さんの役に立つことはできないか」
と考えたことからでした。

主な活動内容は、ひとり暮らしをする75歳以上のお年
寄りを対象に、病院への送迎や買い物代行、安否確認な
どを行っています（週1回土曜日限定）。また、市社会福
祉協議会などのイベントに参加し、血圧測定やおりがみ
陶芸体験なども行っています。

現在、新たに4人がメンバーに加わり活動を行ってい
ますが、休日を利用しての活動のため、まだまだ支援の
必要なお年寄りが多くいるのが現状です。また、平日も
対応してほしいという意見もありますので、今後、メン
バーを増やし、できれば平日も対応できるボランティア
活動をしていきたいと思っています。

問 市民ボランティア なあす 代表 石川 剛（72-2211）

ひたちおおたで楽しく子育て♪

子育て

応援広場



それは、「ママ・プレママサロン」のことだね！育児関連の本もたくさんあるよ

ねえ、こーたん、図書館で絵本の読み聞かせをしてくれるって聞いたんだけど…？



広報広聴係でアルバイト中のカワセミの「こーたん」



『ママ・プレママサロン』

乳幼児を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています。妊娠・出産・育児に関する本も多数揃え、ママたちの情報交換や交流の場にもなっています。授乳コーナーもありますのでお気軽にお越しください。

とき 毎月第1木曜日

午前10時30分～正午

* 次回の開催日は3月7日(金)です。

ところ 図書館本館2階集会室

問図書館本館(72-5555)



voice



「おはなし紙ふうせんひまわり」

平根 ますみ さん
(松平町)

読み聞かせをしていて、絵に反応して近くに寄ってきてくれたりするとうれしいですね。小さいお子さんを連れて出かけるきっかけになればいいなと思っています。

NEW

おめでとう！ はじめての誕生日

お子さんの満1歳の記念に 写真を掲載してみませんか？

「広報ひたちおおた」では3月号から毎月、その月に満1歳を迎えるお子さんの写真を掲載していきます。掲載希望の方は、任意の用紙に必要事項を記入し、写真を添えてお申し込みください。

対象 市内に住所を有する平成24年4月生まれのお子さん(4月号掲載分) * 順次、毎月募集していきます。

応募締切 3月8日(金)

必要事項 お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・住所、応募者(保護者)の氏名・電話番号

その他 メールの場合は写真データを添付してください(JPEG形式で3MG以内)。応募された写真は返却いたしませんのでご了承ください。

問情報政策課広報広聴係(〒313-8611 常陸太田市金井町3690 / メールアドレス joho2@city.hitachiota.lg.jp / 内線 303・304)



太田さとみちゃん
(金井町)
4月1日生まれ



山吹竜太くん
(天下野町)
4月10日生まれ

表紙によせて 表紙の写真は、上河合町で行われた第6回の鳥追いまつりの様子で、8畳ほどの鳥小屋の中で子どもたちがおいしそうにお餅を焼きながら食べています。鳥追いまつりは豊作を祈り、田畑の害虫・害鳥駆除を願って行う伝統行事です。

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690 72-3111 (内線 303・304) Fax72-3002

* 広報ひたちおおたは市のホームページでもご覧になれます URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

この広報紙は再生紙を使用しています